

第60回 全日本学生自転車競技トラック新人戦 東日本大会 大会要項

ver20250826

- 主催 日本学生自転車競技連盟
共催 公益財団法人日本自転車競技連盟
運営協力 山梨県自転車競技連盟
賛 公益財団法人JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ 株式会社JPF
- 期 日 2025年10月9日(木) チーム監督/代表者Zoom会議 20時より
2025年10月12日(日) 9時00分 競技開始
- 会 場 山梨県笛吹市 境川自転車競技場(400m)
- 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した新人学生選手による種目別優勝者を決める大会とする。
- 競技種目 男子:スプリント、1kmTT、4kmIP、ポイントレース、ケイリン
女子:スプリント、1kmTT、4kmIP
- 参加資格 1. 会場入場者全員
・別途コミュニケ等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
2. 出場選手
・日本学生自転車競技連盟憲章・副則・諸規則規程を熟読熟知のうえ順守し、その主旨に賛同して本連盟事業の安全・円滑な運営に協力・寄与する者であること。
・受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。なお、本年度の座学講習会、実地研修会の日程は本連盟HPで確認すること。また、その他アンチドーピング関係の講習受講などの要件については、以下の本連盟HPのアドレスからサイトを確認すること。<https://jjcf.info/27120/>
・なお、アンチドーピング研修の受講実績については、JCF登録時に求められることに加えて、日本学生自転車競技連盟としても受講実績を確認することとなったので注意のこと。
・当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)またはUCI加盟国内連盟の発行するライセンス所持者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。
・本連盟加盟校の登録選手で、その加盟校の所在地が静岡県、長野県、新潟県以東で、かつ、本連盟選手登録期間が2年以内の者。
3. 参加種目は、男子は1名1種目、女子は1名2種目までとする。
4. チームスタッフ
・JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。
・ただしチーム監督・代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンド、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
・チーム監督/代表者及びチームスタッフは、所定の座学講習会とアンチドーピング講習会をエントリー提出日までに少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。
・エントリーシートにより届け出たチームスタッフのみがインフィールドに立ち入ることができる。
5. 緊急時搬送同行・送迎要員
・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
6. 供出役員
・本大会においてはエントリー選手数(男女合計)に応じて、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。
・供出役員はJCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)
・但し、2名以上の場合、1名以上は審判ライセンス保持者とする。なお、その審判ライセンスが第2級公認審判員以上の資格の場合は、審判員1名で供出役員2名分として換算することができる。
・また、審判ライセンス保持者がいない場合は下記の供出人数にもう1名追加すること。
・Aゾーン:山梨・長野・東京・神奈川・埼玉・千葉・群馬・栃木・茨城県が登録地であるチーム
エントリー6~10名の場合に1名、11名以上は2名
・Bゾーン:Aゾーン以外の本州内のチームは、エントリー10名以上は1名
・Cゾーン:本州以外のチーム:供出義務は課さない(供出は歓迎します)
・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
・供出役員については昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。
7. 供出役員の変更
・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。

- ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。

参加申込 1. エントリー申込

- ・所定の様式（エクセル）でエントリー専用電子メールアドレス宛にて本連盟事務局まで申し込むこと。2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。 <https://forms.gle/6mAoRDiyYFC6nBzeA>
- ・本連盟ウェブサイトを受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 参加料

男女とも本連盟加盟校登録選手は1名8,000円とする。

3. 申込期限および参加料納入期限

9月9日（火）17時必着とする。

4. 参加料振込先

長野県労働金庫（ろうきん）諏訪湖支店 普通 9687412 口座名義 日本学生自転車競技連盟
送金名義人について、振込元は大会コード1012と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

5. 返金

- ・一旦入金された参加料は原則として返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

6. 欠場

- ・本大会における欠場については理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを課さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで、電子メール（jicf@remus.dti.ne.jp）および電話（学連携帯 090-2207-2369）で欠場の連絡をすること。

7. 誓約

- ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場

1. チームスタッフの登録

- ・選手数+1名を上限（選手1名ならば、2名まで）としてチームスタッフの登録を行うことができる。
- ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。
- ・登録されたチームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可される。
- ・トラックレベルに入れるスタッフ数はJCF規則・大会コミュニケによる。

2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。

3. メディア関係者

- ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付

1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

2. バイクチェック

- ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。
2. 表彰式は時程表に従い、第3位以上のみ競技場内にて行う。
3. 男子の第3位以上の選手には賞状と賞品を授与する。第4～8位には賞状を授与する。（但し、ケイリンについては第4位～第6位までに賞状を授与する）
4. 女子の第1位の選手には賞状と賞品を授与する。第2～3位には賞状を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

肖像権 本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄 本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369（兼大会当日緊急連絡先） Fax 03-6804-2329

特 別 規 則

第1条（チーム監督/代表者会議）

1. 2025年10月9日（木）20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条（スプリント）

男子は、予選タイム上位8名が1/4決勝に進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。女子は、予選タイム上位4名が1/2決勝に進出する。尚、男女とも5～8位決定戦は行わず、予選の200mFTTの結果により5～8位を決定する。（UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる）

第3条（4kmIP）

男女とも決勝のみとする。追い抜きがあった場合でも、両名とも完走しタイムを計時する。

第4条（ポイントレース）

予選10km、決勝24kmにて行う。

第5条（器材）

「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守することと誓います。

- 1 UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。（UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.（4））
- 2 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF規則第5条2.（9）準用）
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI規則1.1.078）
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI規則1.1.079）
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI規則1.1.080）
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI規則1.2.079）
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI規則1.2.081）
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI規則1.2.082）

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるを随時チェックすること。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

